

クマの出没に注意しましょう

今年もクマの出没や目撃情報が多くなる時期となりました。

この時期は、冬眠明けのクマが子グマと共に食料を求めて活発に動き回る時期であり、今後も人家周辺での出没が予想されます。

クマから身を守るために、市民の皆さまにクマの生態について知って欲しいことと心がけて欲しいことがあります。

■クマに出会わないために心がけて欲しいこと

- クマの食料（誘引）となる可能性のあるものの管理を行う。家庭ごみや家畜飼料、ペットの餌を屋外に放置しない。また、農作物やカキやクリなどといった果樹の取り残しなどもクマにとっては魅力的な食料です。
- 早朝や夜間の行動は避ける。クマが食料を探して特に動き回る時間帯です。
- 山に入ったり、農作業を行う際は、クマ鈴やラジオといった音の出るものを携帯する。こちらから人間の存在を知らせることで、ほとんどのクマは逃げていきます。

■もしクマに出会ってしまったら・・・

- クマに背を向けず、ゆっくり後退して距離をかせぐ。クマは走って逃げるものを追いかける習性があるため、決して走らないようにしましょう。
- 大声を出したり、物を投げつけない。クマを刺激し興奮を煽ることとなり、かえって危険です。写真を撮影することなども危険です。
- 子グマでも決して近づかない。近くに必ず親グマがいて、子グマを守ろうと人間を襲うことがあります。
至近距離で襲ってきた場合、地面にうずくまり、首の後ろに手を組んで、クマが去るのを待ちましょう。

日光市内はほぼ全域がクマの生息地もしくは生息地に隣接した地域です。クマが生息しているということは、それほど豊かな自然が残っているという証でもあり、クマとの共存は保護管理の面からも必要なものです。

住民の皆さまとクマとの事故を防ぐためにご協力をお願いいたします。

お問い合わせ及び担当窓口はこちら

日光市役所環境森林課自然環境係(今市地域)

TEL 21-5152

日光行政センター産業建設係(日光地域)

TEL 54-1114

藤原行政センター産業建設係(藤原地域)

TEL 76-4107

足尾行政センター産業建設係(足尾地域)

TEL 93-3117

栗山行政センター産業建設係(栗山地域)

TEL 97-1133